

Sun-Abe

22型浴室液晶テレビ
SBT-22N1WH
SBT-22N1WH-in
取扱説明書



HDMI

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
---------------	---

各部のなまえ

■浴室テレビ本体	5
■設定用リモコン	6
■設定用リモコン乾電等のいれかた	7

■ふだんの使い方	8
----------------	---

操作の前に

■受信できる放送について 1 (地上デジタル)	9
■受信できる放送について 2	10
(BS・110度CSデジタル)	
■BS/110度CSデジタル有料放送を視聴する ための手続き	11

受信設定

■ホームメニューについて	12
■ホームメニューの基本的な操作のしかた	13
■かんたん初期設定について 1	14
■かんたん初期設定について 2	15
■かんたん初期設定について 3	16
■デジタル放送の受信の設定を個別で 行うときは 1	17
■デジタル放送の受信の設定を個別で 行うときは 2	18
■デジタル放送の受信の設定を個別で 行うときは 3	19
■デジタル放送の受信の設定を個別で 行うときは 4	20

その他設定

■外部機器を接続して使う	21
■ファミリンクについて	22

メニュー項目の一覧と使いかた

■メニュー項目 1	23
■メニュー項目 2	24
■メニュー項目 3	25
■メニュー項目 4	26
■メニュー項目 5	27
■メニュー項目 6	28
■メニュー項目 7	29
■メニュー項目 8	30

情報ページ

■エラーメッセージについて 1	31
■エラーメッセージについて 2	32
■アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ	33
■保証・アフターサービスについて	34

仕様・寸法図

■おもな仕様	35
■本体外形寸法図 2 2 インチ	36
■改訂内容	37

安全上のご注意

必ずお守り下さい

「安全上のご注意」は、ご使用前に必ず読み、正しく安全にご使用下さい。製品の安全確保のために、色々な表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の警告事項を無視して本製品の取扱及び施工を行うと、人命身体にかかわる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。 弊社ではこのことに起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。
 注意	この表示の注意事項を無視して本製品の取扱及び施工を行うと、本製品が破損又は誤動作する可能性があります。 弊社ではこのことに起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

	一般的な禁止
	必ず行う
	分解禁止
	アースを接続せよ
	コンセントを抜く
	注意喚起

本体のお手入れ

- ・シンナー・ベンジンなどで拭いたりしますと、変質したり、変色することがありますのでご使用はおやめ下さい。
- ・殺虫剤など、揮発性のものを使用しないで下さい。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないで下さい。変質したり、変色する恐れがあります。
- ・汚れはやわらかい布で軽く拭取って下さい。長期にわたって放置しますと、水垢などが付着して落ちにくくなることがありますのでこまめに拭取って下さい。

取扱上でのご注意

- ・前面のガラスは強化ガラスですが、強くおさえたり強い衝撃を与えないようにして下さい。特にガラスや液晶パネルが割れることがあり、危険です。



	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用しない 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	すぐに電源プラグを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼して下さい。 お客様による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。
	電源コードを傷つけない ・付属の電源コード以外は使用しないで下さい。電源コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないで下さい。
	また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないで下さい。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
	電源プラグやコンセントにほこりを付着させない ・ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
	・温度の高い部屋、結露しやすいところ、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合には、特に注意して下さい。 (定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間のほこり・よごれを取り除いてください。)
	電源コード接続時の注意 ・電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
	・電源コードは束ねたまま使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。
	製品を分解したり、改造しない 内部に手を触れると危険なうえ、火災・感電の原因となります。
	内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。
	雷がなり出したら使用しない 電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないで下さい。
	感電の原因となります。
	電源電圧AC100V以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因となります。
	使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。 (this unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

安全上のご注意

必ずお守り下さい



注意

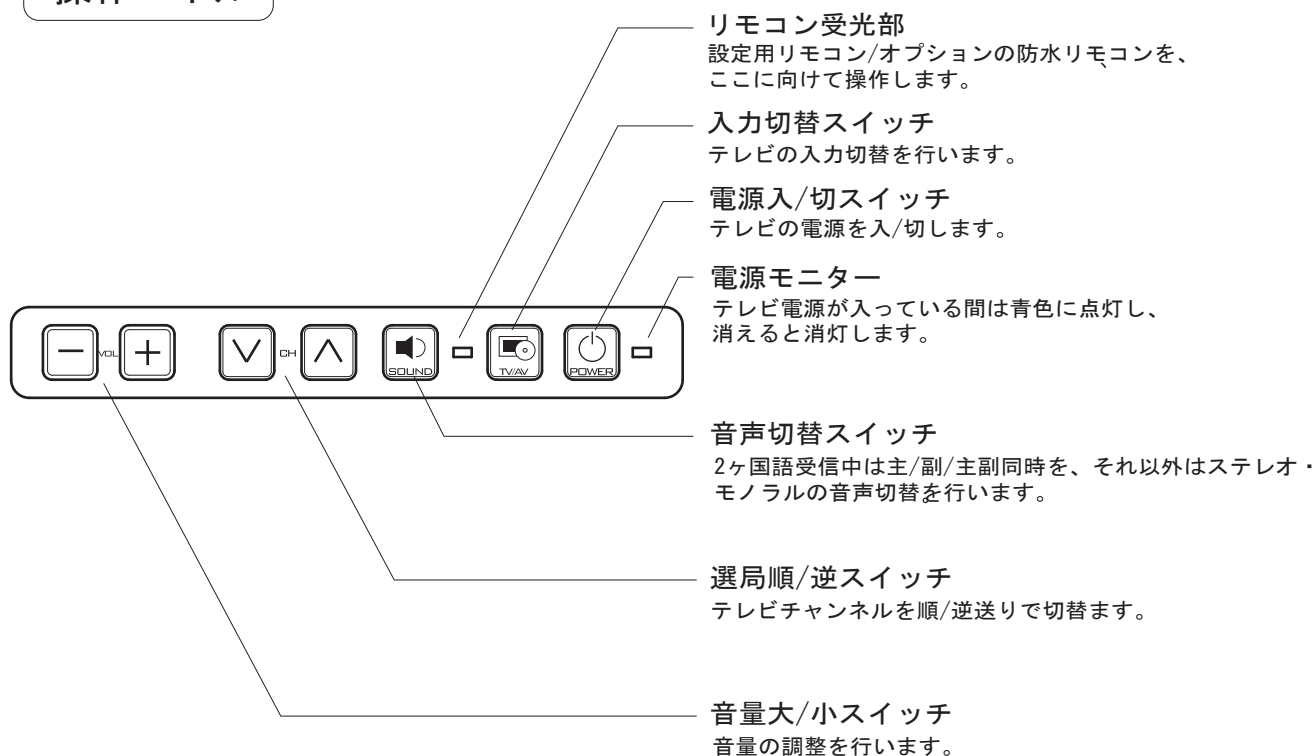
	電源コードを抜く時は、電源コードを引っ張らない 必ず電源プラグを持って抜いて下さい。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて、火災、感電の原因となる事があります。
	濡れた手で電源プラグを触らない 感電の原因となる事があります。
	上に乗らない、ガラス/液晶部分に衝撃を与えない ・倒れたり、壊れたりして、けがの原因となる事があります。 ・液晶パネルに力を加えたり、強い衝撃を与えたりすると、液晶パネルやガラスが割れて、けがの原因となる事があります。
	機器の上に重いものを置かない 倒れたり、落下してけがの原因となる事があります。また、重みによって故障の原因となる事があります。

浴室テレビ各部のなまえ

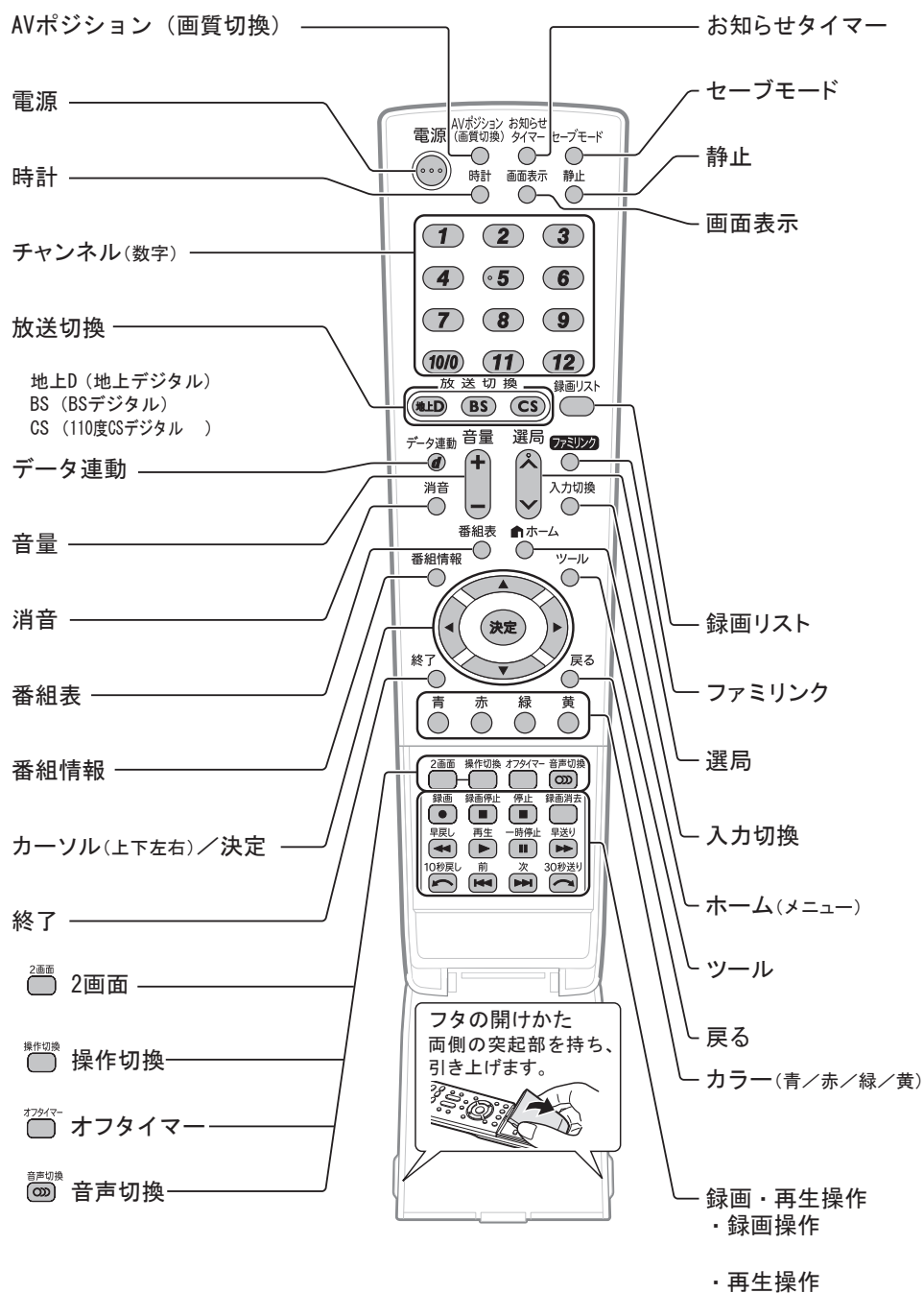
■浴室液晶テレビ本体各部のなまえと機能です。



操作パネル



設定用リモコン各部のなまえ1

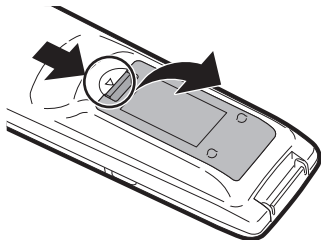


設定用リモコン乾電池の入れかた

1

カバーを開ける

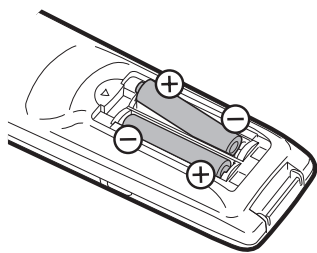
リモコン裏側の電池カバーを開け、付属の単4形乾電池（アルカリ）を入れる



△部分を軽く押し
ながら、カバーを
矢印のように持ち
上げます。

2

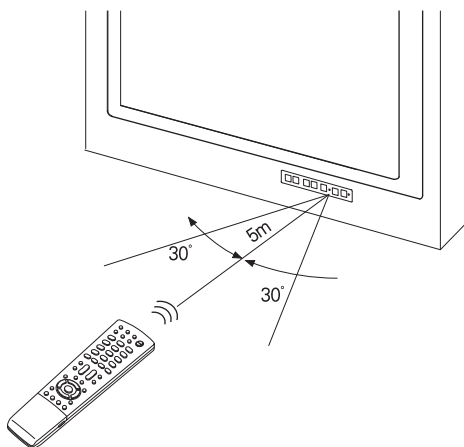
付属の単3形乾電池（アルカリ）を入れる



バネ状の部分に
乾電池の ⊖ が
くるように入れ
ます。

リモコンで操作出来る範囲

リモコンは、画面右下の受光部に向けて操作して下さい。
操作出来る範囲は受光部から約5m、上下左右に約30度以内です。



リモコンで動作しにくい時

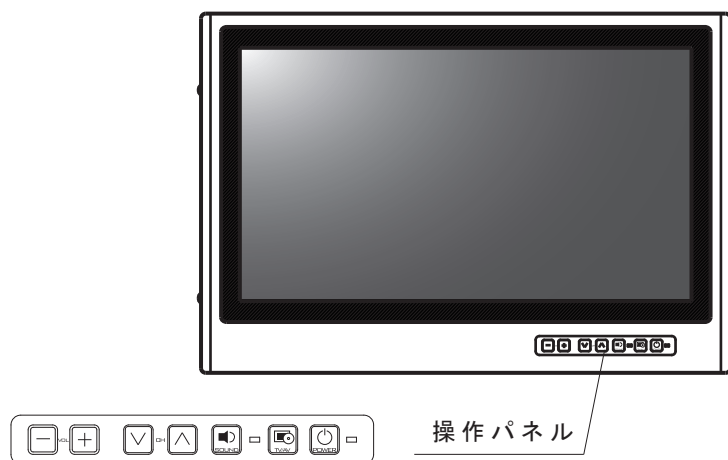
- ・リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- ・乾電池が消耗した場合は、操作出来る距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換して下さい。
- ・蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。

本リモコンは、本体の初期設定に使用します。
防水仕様ではありませんので、通常のご使用はお止め下さい。

- ・リモコン送信機には衝撃を与えないで下さい。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないで下さい。
- ・リモコン受光部に直射日光や強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えるなどして下さい。

ふだんの使い方

■ 浴室液晶テレビの基本的な操作方法です。



■ 電源スイッチ

浴室液晶テレビの電源の入／切に使用します。

■ 入力切替スイッチ

スイッチを押す度に、映像モードが切り換わります。

(例、地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル→入力1〔HDMI〕)

■ 音声モード切替

スイッチを押す度に、音声モードが切り換わります。

2ヶ国語放送受信時

主音声 → 副音声 → 主/副同時
↑

ステレオ放送受信時

ステレオ → モノラル
↑

■ チャンネルの選局

スイッチで、選局を切り換えます。

■ 音量の調整

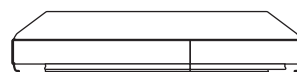
スイッチで、音量を調整します。

■ 本機は外部機器の入力にHDMI端子を1系統使用できます。

入力切替ボタンを押して外部入力1を選択し、HDMI出力端子搭載機器に接続してお使いください。



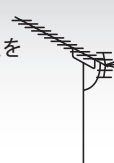
■ HDMI出力端子付き機器



受信できる放送の種類について 1



UHF アンテナ
地上デジタル放送を
受信できます。



地上アナログ放送

- ・ 本機では、地上アナログ放送を受信できません。

- ◆ 重 要 ◆
- ・ データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

- ・ スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- ・ スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

マルチビューサービス

- ・ 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選んで切り換えます。

緊急警報放送

- ・ 地震などの際の緊急警報放送です。

地上デジタル放送

- ・ 2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- ・ 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- ・ 高音質と多チャンネル放送
- ・ 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- ・ 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- ・ UHF対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナがUHF対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。VHFアンテナでは受信できません。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

- ・ 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド [SHB] 帯、VHF帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

ご案内チャンネルの表示

- ・ 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

ブックマーク

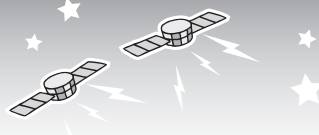
- ・ コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。

※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。

受信できる放送の種類について 2

◇ お知らせ ◇

- ・ ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ・ ARIB (Association of Radio Industries and Businesses) とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。



- ・ BSデジタル放送
- ・ 110度CSデジタル放送

BS・110度CS 共用アンテナ

BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
(他の衛星放送は、衛星の向きが違いため受信できません。)



BS デジタル放送

- ・ 放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使ったデジタル放送です。
- ・ 地デジ難視対策衛星放送 (BS291ch ~ BS298ch) は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。
- ・ 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- ・ 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- ・ 視聴者参加型の双方向通信番組
- ・ 2 種類のデータ放送 (独立データ放送・番組に連動したデータ放送)

受信に必要なアンテナ

- ・ BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ (市販品) が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- ・ BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星 (Communication Satellite) を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- ・ テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- ・ 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ・ ボード (掲示板) 機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

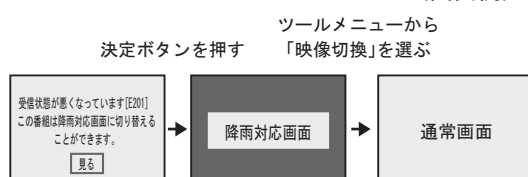
- ・ BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ (市販品) が必要です。
- ・ 従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域 (2.6GHz) まで対応したものに交換する必要があります。

BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- ・ 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選ぶと元の映像に戻れます。

(画面例)



110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード (掲示板)

- ・ プラットフォーム (スカパー!) 単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード (掲示板) に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。

(画面例)

情報タイトル	
ワールドカップ独占放送	▲
新規契約特典のお知らせ	
新規契約特典のお知らせ	
新規契約特典のお知らせ	
新規契約特典のお知らせ	

BS/110度CSデジタル有料放送を視聴する為の手続き

WOWOWやスカパー！ デジタルなどの有料放送を見るときは

- ・ 有料放送を視聴するには、スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し郵送するか、下記にお問い合わせください。

2013 年 2 月現在

~~~~~ WOWOW

WOWOW カスタマーセンター

電話番号 0120-580807

受付 9 : 00 ~ 20 : 00 (年中無休)

ホームページ <http://www.wowow.co.jp/>

スター・チャンネル

スター・チャンネル カスタマーセンター

電話番号 0570-013-111 または
045-650-4724

受付 10 : 00 ~ 18 : 00 (年中無休)

ホームページ <http://www.star-ch.jp/>

- ・ スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！ カスタマーセンターへお問い合わせください。

~~~~~ スカパー！

スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号 0570-039-888 (ナビダイヤル)
PHS、IP 電話のお客様は
03-4334-7777

受付 10 : 00 ~ 20 : 00 (年中無休)

ホームページ <http://www.skyperfectv.co.jp/>

◇ おしらせ ◇ ~~~~~

- ・ 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

ホームメニューについて

- ・ 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ・ ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例



ホームメニューの文字の大きさを 変えるには

- ・ ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。

- 1 ホームメニューから「設定」→「機能切換」→「画面表示設定」を選ぶ
- 2 「文字サイズ」を選び、「標準」または「大きな文字」に設定する

ホームメニューや番組表などの 配色を変えるには

- ・ ホームメニュー画面、番組表、裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）、番組情報、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を変更できます。

- 1 ホームメニューから「設定」→「機能切換」→「画面表示設定」を選ぶ
- 2 「表示色」を選び、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」のいずれかに設定する

ホームメニューの基本的な操作のしかた

1

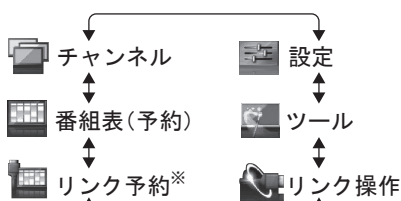
ホーム
を押す

2

で選ぶ
を押す

ホームメニューを表示する

ホームメニュー項目を選ぶ



※ レコーダーがファミリンク接続されていないときは表示されません。

- ・ リモコンのツールボタンを押して、直接「ツール」を表示することもできます。

3

で選ぶ

機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ



例：「設定」の場合



- ・ ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。

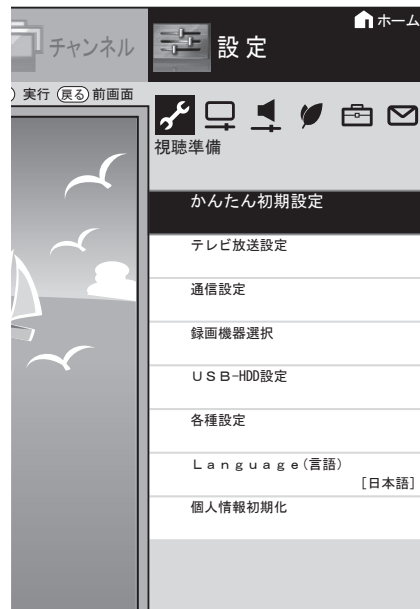
4

で選ぶ
決定
を押す

機能別選択・設定項目を選ぶ

- ・ 項目は、状況によって異なります。

▼「視聴準備」の機能別項目例



5

で選ぶ
決定
を押す

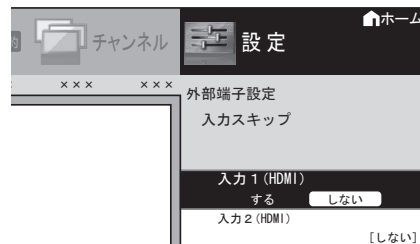
ガイド表示に従って、操作を進める

- ・ 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- ・ 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例



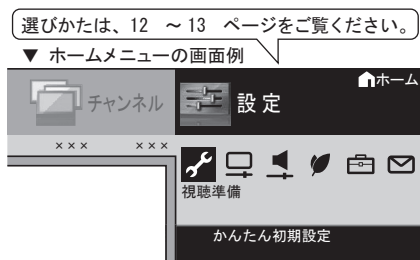
▼設定画面の例



かんたん初期設定について 1

- お買い上げ後、初めて電源を入ると、工場出荷時点で簡単初期設定が実施されています。
B-CASカード挿入済みです。
(出荷時点でクイック起動設定も行っております。※クイック起動設定は常にするが、設定上必須事項です。)
(ホームメニューからも同様の操作ができます。)

- ・ ホームメニューからかんたん初期設定を行ってください。



1

電源



を押す

2

決定

を押す

電源を入れる

メッセージを確認して決定する

設定
アンテナ設定

アンテナ線の接続はお済みですか？
お済みでない場合は、一旦電源を切り、
「かんたんガイド」、または「取扱説明書」に
従って正しく接続してください。

AVポジションを「標準」に設定しました。
ご家庭での視聴に適した映像・音声設定です。

次へ

3



で選ぶ

決定

を押す

①お住まいの地域を選ぶ

設定
アンテナ設定

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

かんたん初期設定について 2

4

1

↓

10/0

で入力し

決定

を押す

5

決定

で選び

決定

を押す

6

決定

で選び

決定

を押す

郵便番号を入力する

設定
アンテナ設定

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

次へ

- ・「0」を入力するときは **10/0** を押します。

「する」を選ぶ

地上デジタル放送のチャンネル設定をしますか？
設定しない場合は、「しない」を選択してください。

現在の地域設定は ○ ○ です。

する しない

- ・チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- ・手順6 の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

「する」または「しない」を選ぶ

- ・BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順8に進みます。

設定
アンテナ設定

BS/CSのアンテナを設定しますか？
設定しない場合は、「しない」を選択してください。

する しない

- ・「する」を選んだときは、「BS/CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

設定
アンテナ設定

BS/CSアンテナ電源を「オート」に設定しました。
受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。

受信強度 BS-15

現在値 95 最大値 95

受信状態:良好です。【A】

次へ

手順6で「する」を選んだあと、次の画面が表示されたときは

BS/CS信号が検出できませんでした。
手動で再設定するか、一旦電源を切りアンテナ接続を再確認してから再度かんたん初期設定を実行してください。
設定しない場合は、「次へ」を選択してください。

受信強度 BS-15

現在値 0 最大値 0

次へ 手動で再設定

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定

BS/CS
アンテナ電源 オート 入 切

- ・左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順8 の画面が表示されます。

7

決定

を押す

受信状態を確認して決定する

BS/CSアンテナ電源を「オート」に設定しました。
受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。

受信強度 BS-15

現在値 95 最大値 95

受信状態:良好です。【A】

次へ

- ・「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が60以下です。【B】	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。

かんたん初期設定について 3

アンテナ信号が不足しています。 【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。 【D】	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。 【E】	本体の電源ボタンをいったん切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。

8



で選び

決定

を押す

設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

9

決定

を押す

メッセージを確認して決定する

- ・ これで設定は完了です。
- ・ 映りかたを確かめましょう。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは1

デジタル放送用アンテナの設定をする

- ・ デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」を行ってください。)
- ・ 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	・ 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 ・ 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。(リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。)
入	・ 「オート」を選んでBS デジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 ・ 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	・ 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 ・ アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- ・ 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- ・ アンテナ設定画面は無操作のまま1分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

- ・ アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重 要 ◆

- ・ アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

- 1 BSボタンを押し、BSデジタル放送を選ぶ
 - ・ 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。
 - ・ 「チャイルドロック」をかけているとき「地デジ限定設定」「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
- 2 ホームメニューから「設定」→「 (視聴準備)」→「テレビ放送設定」を選ぶ
- 3 「アンテナ設定」を選ぶ
- 4 「電源・受信強度表示」を選ぶ

◆ アンテナに電源を供給するための設定

- 5 BS・CSアンテナ電源で、「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

◆ 受信強度の調整

- 6 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する
 - ・ 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。(アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)
- 7 調整が終わったら決定ボタンを押す
 - ・ 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは2

お住まいの地域向けの
地上デジタル放送を
受信するために
(地域選択／郵便番号設定)

- ・ 地上デジタル放送の地域情報(緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報)をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

- 1 ホームメニューから「設定」－「 (視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ
- 2 「地域設定」を選ぶ
- 3 「地域選択」を選ぶ
- 4 お住まいの地域を設定する

- ・ 地域選択を変更した場合は、あとで「チャンネル設定」から「地上デジタルー自動」を行ってください。

郵便番号設定

- 1 ホームメニューから「設定」－「 (視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ
- 2 「地域設定」を選ぶ
- 3 「郵便番号設定」を選ぶ
- 4 数字ボタン(チャンネルボタン)で郵便番号を入力する

- ・ 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン(チャンネルボタン)で数字を選び直します。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは3

地上デジタル放送の チャンネルを追加したり 設定をやり直すときは

- ・ 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」をしてください。

- 1 地上デジタル放送を選局する
- 2 ホームメニューから「設定」→「 (視聴準備)」→「テレビ放送設定」を選ぶ
- 3 「チャンネル設定」→「地上デジタル」を選ぶ
- 4 「地上デジタルー自動」を選ぶ
- 5 「する」に設定する

◆ 重 要 ◆

「地上デジタルー自動」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは
・ 「地上デジタルー自動」の代わりに「地上デジタルー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇ お し ら せ ◇

地上デジタル放送のCATV（ケーブルテレビ）
放送対応について

- ・ CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。
- ・ 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド [SHB] 帯、VHF帯）です。
- ・ CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送の チャンネルの個別設定

- ・ 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	・ リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	・ 受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変更して区別できます。（地上デジタル放送のみ）
スキップ	・ 選局（  順/  逆）ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

- 1 地上D、BS、CSボタンのいずれかを押し、デジタル放送を選ぶ
・ 「チャイルドロック」をかけているとき「地デジ限定設定」を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
- 2 ホームメニューから「設定」→「 (視聴準備)」→「テレビ放送設定」を選ぶ
- 3 「チャンネル設定」を選ぶ
- 4 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選ぶ
・ 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順6に進みます。
- 5 「地上デジタルー個別」を選ぶ
- 6 ①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、決定する
②左右カーソルボタンで「数字ボタン」を選び、決定する
・ 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、**1** ~ **9** を押します。
・ チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、チャンネルスキップ設定と連動します。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは4

- 7 数字ボタンで入力欄に数字を入力して、決定する
- ・ 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか?」と表示されます。(枝番の場合は「枝番が重複しています。置き換えますか?」と表示されます。)
- 数字ボタンを置き換える場合
- ・ 手順8 に進みます。
- 置き換えずに別の数字にする場合
- ・ 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 8 「確認」を選ぶ
- ・ 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- ・ 地上デジタル放送では、1～12の数字ボタン(チャンネルボタン)の番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- ・ 3桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。

チャンネルスキップ設定

- ・ 通常の選局時と番組表を使った選局時の、チャンネルのスキップ設定を次のように変更できます。

項目	内容
両方する	・ 選局時と番組表のどちらもスキップします。 ・ この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	・ 番組表のみ表示されなくなります。 ・ 選局時は表示されます。
選局のみ	・ 選局時のみ表示されなくなります。 ・ 番組表には表示されます。

項目	内容
両方しない	・ 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 ・ この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 1 「地上D」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ
- 2 ホームメニューを表示して、「設定」→「 (視聴準備)」→「テレビ放送設定」を選ぶ
- 3 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する
- 4 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する
- 5 手順4で「地上デジタル」または「BSデジタル」を選んだ場合は、上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する
- ・ 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されますので、手順6に進みます。
- ・ 手順4で「CSデジタル」を選んだ場合は、スキップ設定したい3桁番号の範囲を選び、決定する
- ・ 手順7に進みます。
- 6 カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する
- ・ 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか?」と表示されますので、手順8に進みます。
- ・ 「個別設定」を選んだ場合は、手順7に進みます。
- 7 上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、決定する
- 8 カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する
- ・ 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

- ・ 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch～BS298ch)は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BSデジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

外部機器を接続して使う

BD プレーヤーやゲーム機などの画面に切り換える

- ・ テレビ放送の画面からHDMI 入力の画面に切り換えると、BD や DVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

灰色で表示した手順は BD プレーヤーなどの外部機器の操作です。

1

BDプレーヤーなどを本機に接続し、電源を入れる

2

再生したいディスクなどをセットする

3

入力切換メニューを表示する

入力切換
●
を押す

- ・ 表示中に次の操作を行います。

4

繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

入力切換
●
を押す

- ・ 上下カーソルボタンでも選択できます。

(例) 本機の入力 1 に接続した機器の映像を見るときは、「入力 1」を選ぶ



5

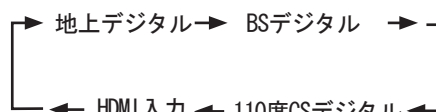
BDプレーヤーなどを再生する

- ・ 再生映像が表示されます。
- ・ 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続した BD プレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

◇ おしらせ ◇

本体の入力／放送ボタンでも入力を切り換えられます。

- ・ ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。(放送の種類も切り換えられます。)



- ・ 本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。

HDMI 端子につないで見られる

映像の種類

1080p (24Hz/30Hz/60Hz)

720p (30Hz/60Hz) 1080i、

480p、 480i、 VGA

- ・ 対応している音声信号は AAC、リニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

- ・ 入力 1 に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

1

入力切換ボタンを押して、表示を変えたい入力 1 を選ぶ

2

ホームメニューを表示して、「設定」-「 (機能切換)」-「外部端子設定」を選ぶ

3

「入力表示」を選び、表示させたい名称を選ぶ
・ お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。(文字を入力する)

ファミリンクについて

ファミリンクとは

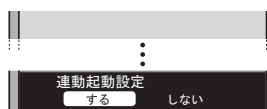
HDMI端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMIケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格—HDMI CEC(Consumer Electronics Control)を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダーなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

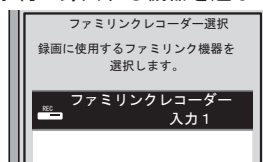
- 1 ホームメニューから「リンク操作」—「ファミリンク設定」を選ぶ
- 2 「連動起動設定」を選び、「する」に設定する



ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

- AQUOS レコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画・録画予約するレコーダーを指定するための設定です。

- 1 ホームメニューから「リンク操作」—「ファミリンク設定」—「ファミリンクレコーダー選択」を選ぶ
- 2 ファミリンク録画予約で録画する機器を選ぶ



一般のHDMI機器が誤作動するときは

- ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。

- 1 ホームメニューから「リンク操作」—「ファミリンク設定」を選ぶ
- 2 「ファミリンク制御(連動)」を選び、「しない」に設定する



メニュー項目の一覧と使いかた 1

メニュー項目名／設定				内容		
 かんたん初期設定	接続確認		次へ		「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面を見ながら操作・設定をしてください。受信できる地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。	
	地域設定					
	郵便番号設定		次へ			
	チャンネル設定		する、しない			
	BS/CS アンテナ設定		する、しない、次へ、手動で再設定			
	完了確認		完了、再設定			
	テレビ放送設定	チャンネル設定	地上デジタル	地上デジタル自動	する、しない	地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
				一追加	する、しない	
				一個別	各 CH の設定	
				一選局順	モード1、モード2	
チャンネル更新設定				自動、手動		
BS デジタル		各 CH の設定		BS デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。		
CS デジタル		各 CH の設定		CS デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。		
スキップ設定		地上デジタル BS デジタル CS デジタル	各放送のチャンネルスキップの設定を行います。選局時と番組表、それぞれのスキップ設定ができます。			
アンテナ設定		電源・受信強度表示	オート、入、切、受信状態一覧へ			デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。
		周波数設定				
	信号テストー地上 D					
	信号テストー BS					
	信号テストー CS					
地域設定		地域選択、郵便番号設定		地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。		
通信設定	LAN 設定	現在の設定(設定の確認)	変更する、初期化する		本機ではご利用になれません。	
		IP アドレス設定	する、しない			
		DNS 設定	する、しない			
		ネットワーク設定確認	テスト実行、完了			
	ネットサービス制限設定	デジタル放送接続制限	禁止する、禁止しない		本機ではご利用になれません。	
		プロキシサーバー設定	利用する、利用しない、アドレス、ポート		本機ではご利用になれません。	
録画機器選択				リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。 ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。		
USB-HDD 設定	USB-HDD の選択			本機ではご利用になれません。		
	機器の初期化		する、しない	本機ではご利用になれません。		
	機器の登録解除			本機ではご利用になれません。		
	機器の取りはずし			本機ではご利用になれません。		
	長時間対応 HDD 録画モード		標準 (DR) 長時間 (TR)	本機ではご利用になれません。		
	省エネ設定		する、しない	本機ではご利用になれません。		
	オートチャプター設定		しない、10 分、15 分、30 分	本機ではご利用になれません。		
	機器名の変更		する、しない	本機ではご利用になれません。		

メニュー項目の一覧と使いかた 2

メニュー項目名／設定			内容
設定 ホーム 視聴準備	暗証番号設定		する、しない
	視聴年齢制限設定		XX 歳、無制限
	ダウンロード設定		する、しない
	電源ボタン設定	モード 1	
		モード 2	
	クイック起動設定 ※本機ではデフォルトで する（常に有効）に設定されています。	クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。	
		しない	
		する（常に有効）	
	時計設定	する（2 時間のみの有効）	
		時刻設定	
		時刻表示	
	リモコン番号設定	リモコン番号 1	
		リモコン番号 2	
	Language（言語）		日本語、English
	個人情報初期化		全ての情報を消去、USB-HDD の情報を残して消去、しない
設定 ホーム 映像調整	AV ポジション（画質切換）		標準、映画、ゲーム、PC、AV メモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック（固定）
	明るさセンサー（OPC）		切、入、入：表示あり
	明るさ		-16 ～ 0 ～ +16
	映像		0 ～ +40
	黒レベル		-30 ～ 0 ～ +30
	色の濃さ		-30 ～ 0 ～ +30
	色あい		-30 ～ 0 ～ +30
	画質		-10 ～ 0 ～ +10
			映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。
			室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。
			画面をお好みの明るさに手で調整します。（調整すると、上の項目の「明るさセンサー（OPC）」は「切」になります。）
			映像の強弱を調整します。
			画面を見やすい明るさに調整します。
			映像の色の濃さを調整します。
			色を調整します。
			画面をお好みの画質に調整します。 AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。

メニュー項目の一覧と使いかた 3

メニュー項目名／設定				内容	
設定 映像調整	プロ設定	カラーマネージメント - 色相 カラーマネージメント - 彩度 カラーマネージメント - 明度	R	-30 ～ 0 ～ +30	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
			Y	-30 ～ 0 ～ +30	
			G	-30 ～ 0 ～ +30	
			C	-30 ～ 0 ～ +30	
			B	-30 ～ 0 ～ +30	
			M	-30 ～ 0 ～ +30	
		リセット			
		色温度	色温度	高、中、低	青みがかった白(色温度:高)にするか、赤みがかった白(色温度:低)にするかを調整します。
		アクティブコントラスト		する、しない	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の2つの中から選べます。
		ガンマ設定		-2 ～ 0 ～ +2	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
	フィルムモード		する、しない	フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。	
	デジタルNR		強、中、弱、しない	映像に乗ったノイズを減らし、すっきりさせる機能です。	
	モノクロ		する、しない	白黒映像にします。	
	明るさセンサー (OPC) 設定	最大値設定	-16 ～ 0 ～ +16	明るさセンサー (OPC) 「入」時の、動作範囲の最大値と最小値をお好みの値に設定できます。周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。	
		最小値設定	-16 ～ 0 ～ +16		
リセット			する、しない	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。	
設定 音声調整	オートボリューム		強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。	
			中	音量変化を中くらいに抑えます。	
			弱	音量変化をわずかに抑えます。	
			切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。	
			高音	-15 ～ 0 ～ +15	高音を調整できます。
	低音	-15 ～ 0 ～ +15	低音を調整できます。		
	バランス	左 30 ～中央～右 30	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。		
	サラウンド	自動、入、切	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。		
	リセット		する、しない	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。(「声の聞きやすさ」は除きます。)	
	声の聞きやすさ			標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
				マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。
				くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。
				しない	この機能を無効にします。

メニュー項目の一覧と使いかた 4

メニュー項目名／設定			内容
 設定  ホーム      安心・省エネ	照明オフ連動	照明オフ連動	解除、設定 本機ではご利用になれません。
		電源切(待機状態)移行時間	0分、15分、30分、60分 本機ではご利用になれません。
		表示設定	アイコン+文字、文字のみ 本機ではご利用になれません。
	セーブモード設定	セーブモード映像オフ	する、しない セーブモードボタンを押すと映像が消えるように設定できます。(音声は消えません)
		セーブモード画質	する 画面の明るさを最小にして消費電力を抑えつつ、見やすい画質にします。
			しない 画面の明るさを控えめ(最小にはしない)にして、消費電力を抑えます。
		セーブモード無信号オフ	する セーブモードにすると、「無信号オフ」(⇒下記)が「する」に自動で設定されます。
			しない 「無信号オフ」(⇒下記)の設定に従います。
		セーブモード無操作オフ(3時間)	する セーブモードにすると、「無操作オフ」(⇒下記)が「3時間」に自動で設定されます。
			しない 「無操作オフ」(⇒下記)の設定に従います。
		一日の累計視聴時間表示	する 視聴中に一定の時間が経過すると画面に経過時間を表示するように設定できます。
			しない
	映像オフ		する、しない 映像を消して音声だけを聞くことができます。
	無信号オフ		する、しない 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約15分後に電源が切れるように設定できます。
	無操作オフ		しない、30分、1時間、2時間、3時間 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。
	ゲーム時間表示設定		する、しない ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、プレイ時間を30分ごとに表示する機能です。
	地デジ限定設定		有効、無効 地上デジタル放送だけを受信している場合に便利な設定です。 「地デジ限定設定」を「有効」に設定すると、誤って地上デジタル放送以外の放送に切り換えてしまうことを防ぎます。(リモコンの「BS」「CS」ボタンを押しても、放送切替ができなくなります。) 「地デジ限定設定」が「無効」になっている場合は、「BS」「CS」を誤って押すと、「地上D」を押すまでは「1」～「12」のチャンネルボタンなどを押しても地上デジタル放送が見られません。
	チャイルドロック		しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。
 設定  ホーム      機能切換	視聴操作	番組情報	デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。
		画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
		テレビ/ラジオ/データ	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
		録画状態	録画場所、録画番組詳細、録画時間・カウンター、録画モード、録画可能時間などを10秒程度表示します。
		字幕操作	字幕の表示方式や表示言語を変更します。
		静止	画面を静止させます。
		3桁入力	3桁のチャンネル番号を入力して選局します。
	ファミリンク設定	ファミリンク制御(連動)	する、しない ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。
		連動起動設定	する、しない ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
		ファミリンクレコーダー選択	リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。 ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

メニュー項目の一覧と使いかた 5

メニュー項目名／設定					内容		
 設定  ホーム  機能切換	ファミリーリンク設定		選局キー		入力1	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、AQUOS レコーダーの操作が行えます。 (設定用リモコンでのみ操作可能。) 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。
					入力2	自動、する、しない	
					入力3	自動、する、しない	
	おはようタイマー	おはようタイマー		解除、設定		本機ではご利用になれません。	
		曜日		毎日、月ー土、月ー金、毎週日曜～毎週土曜、1回だけ			
		時刻(時)		おはようタイマー時刻設定 時			
		時刻(分)		おはようタイマー時刻設定 分			
		入力		テレビ、入力1～入力5、時計			
		CH					
		音量		0 ～100			
		アラーム音		なし、ベル、電子音、鳩時計、小鳥			
	おやすみタイマー	おやすみタイマー		解除、設定		本機ではご利用になれません。	
		時刻(時)		おやすみタイマー時刻設定 時			
		時刻(分)		おやすみタイマー時刻設定 分			
		モード		通常、サンセット			
		表示設定		アイコン+文字、文字のみ			
	オフタイマー	変更する		切、この番組の最後まで(次の番組の最後まで)、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分		本機ではご利用になれません。	
		変更しない					
	外部端子設定	ヘッドホン					
			モード1				
			モード2				
		パソコン入力	入力解像度	自動、1024×768、1360×768			
			自動同期調整	する、しない			
			画面調整				
				水平位置			
				垂直位置			
				クロック周波数			
				クロック位相			
		リセット					
		入力音声選択					
HDMI のみ							
HDMI+ 音声入力端子							
アナログ RGB のみ							
アナログ RGB+ 音声入力端子							

メニュー項目の一覧と使いかた 6

メニュー項目名／設定					内容
	外部端子設定	入力スキップ	入力 1 (HDMI)	する、しない	入力 1～3、入力 5、地上 D、BS、CS を使用しないときは、入力切替の際に飛ばすことができます。
			入力 2 (HDMI)	する、しない	
			入力 3 (HDMI)	する、しない	
			入力 5 (PC)	する、しない	
			地上デジタル (本体)	する、しない	
			BS デジタル (本体)	する、しない	
			CS デジタル (本体)	する、しない	
		入力選択		自動、D 端子、ビデオ映像	入力 4 の映像が表示されない場合、「D 端子」または「ビデオ映像」を選びます。
		入力表示		(選択入力で内容変換) ユーザー設定編集	入力 1～4 に接続している機器に合わせ、入力切替メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
		HDMI コンテンツタイプ連動		する、しない	HDMI ケーブルを使って本機と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的に AV ポジションを切り換えます。
	画面表示設定	キャラクター		する、しない	時刻表示やホームメニューなどの画面に、キャラクターを表示します。
		文字サイズ		標準、大きな文字	ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。
		表示色		グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系	ホームメニュー画面、番組表、裏番組一覧 (ホームメニューの「チャンネル」)、番組情報、チャンネル表示画面、入力切替画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を変更できます。
		選局効果		する、しない	選局したときに動きの効果がつくよう設定できます。
		番組名表示		する、しない	選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。 選局したチャンネルで次の番組が 2 分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
		文字スーパー表示		する、しない	デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報 (文字スーパー) を表示する場合があります。 文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
		画面位置	水平位置	-6 ~ 0 ~ +6	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
			垂直位置	-7 ~ 0 ~ +7	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
			リセット		工場出荷時の状態に戻します。
		オートワイド			オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。 デジタル放送視聴時は選択できません。
			映像判別	する、しない	入力 1～4 から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にします。
			D 端子識別	する、しない	入力 4 の D 映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D 端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D-コンポーネント変換ケーブルのときは D 端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
			HDMI 識別	する、しない	入力 1～3 から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

メニュー項目の一覧と使いかた 7

メニュー項目名／設定		内容
 設定  お知らせ	受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）やB-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	放送局メッセージ	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定を「しない」に設定した場合放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。
	ボード (CS デジタル)	CS1、CS2 現在の放送で送られている、CS 各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 録画予約実行中は選べません。
	B-CAS カード	実行 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CAS カードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 カードID……カード固有の番号です。
	システム動作テスト	テスト実行 B-CAS カードが正しく挿入できているかをテストします。
	ソフトウェアの更新	USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
 ツール  ツール	再生機器選択	本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
	字幕操作	字幕の表示方式や表示言語を変更します。
	映像切換	複数の映像がある番組をご覧のとき、映像を切り換えて楽しめます。
	テレビ / ラジオ / データ	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
	おはようタイマー	指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。 一部機能に制限があります。
	3 桁入力	3 桁のチャンネル番号を入力して選局します。
	画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
	USB-HDD 設定	本機ではご利用になれません。
	お知らせ (受信機レポート)	予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）やB-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	お知らせ (放送局メッセージ)	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定を「しない」に設定した場合放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

メニュー項目の一覧と使いかた 8

メニュー項目名／設定				内容	
 リンク操作  ホーム リンク操作	レコーダー電源入／切			本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。	
	ファミリンクパネル			ファミリンクパネルで、録画や再生などの操作ができます。	
	録画リストから再生			録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生します。	
	スタートメニュー表示			AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。 表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。	
	機器のメディア切換			必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／ BD モード／ DVD モードを切り換えます。	
	リンク予約（録画予約）			AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約します。	
	ファミリンク機器リスト			複数の HDMI 対応のレコーダー（録画機器）をお使いのとき、視聴する HDMI 機器を選びます。	
	ファミリンク設定	ファミリンク制御(連動)		する、しない	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。
		連動起動設定		する、しない	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
		ファミリンクレコーダー選択			リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。 ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。
選局キー		入力 1	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、AQUOS レコーダーの操作が行えます。 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。	
		入力 2	自動、する、しない		
		入力 3	自動、する、しない		

エラーメッセージについて 1

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	*****	・ B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入し直してください。	
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	*****	・ B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	*****	・ 本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	*****	・ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	
このB-CASカードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	*****	・ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	・ このチャンネル(番組)は視聴できません。	
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	・ 降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気のリセットをお待ちください。	
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	*****	・ アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	・ アンテナ線を確認してください。 ・ アンテナの設定が合っているか確かめてください。 ・ 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	・ 番組表などで放送時間を確かめてください。 ・ 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	
〇〇〇チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	・ 番組表などでチャンネルを確かめてください。	

エラーメッセージについて 2

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	****	- 電源を入れ直してください。 - BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	
〇〇〇チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	

アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
受信強度が60以下です。【B】	・ 受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	・ アンテナ信号が強すぎるため受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	・ ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	・ 受信強度が60以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。 ・ アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	・ アンテナが正しく設置されているか確認してください。 ・ アンテナ線を確認してください。 ・ アンテナの設定が合っているか確かめてください。

保証・アフターサービスについて

■保証書はよくお読み下さい。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みの後、大切に保管して下さい。

■保証期間は保証書に記載されています

■修理及びアフターサービスをご依頼されるときは

まず、もう一度、説明書にしたがって正しく操作していただき、直らない時は次の処置をして下さい。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきます。
お買い上げの販売店までご連絡下さい。

●保証期間が過ぎている時は

お買い上げの販売店までご連絡下さい。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

■あらかじめご了承ください

●修理のとき一部代替品を使わせていただくことや、修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただく事があります。

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後7年です。
性能部品とは、その製品を維持する為に不可欠な部品のことです。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

[技術料]は、診断、故障箇所の修理および部品交換、調整、修理完了時の点検などにかかる費用です。

[部品代]は、修理に使用した部品および補助材料代です。

[出張料]は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

おもな仕様

型式		SBT-22N1WH
液晶パネル	画面サイズ	22V型 (横478mm×縦268mm) アスペクト比16 : 9
	駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	1,366 (水平) × 768 (垂直) 画素
	使用光源	LED
アンテナ入力		地上デジタル 75Ω 不平衡型、BS-IF 75Ω 不平衡型
音声出力		総合6W (3W×2)
定格電圧		AC100V、DC12V/DC24V (付属ACアダプター使用)
定格周波数		50/60Hz
消費電力		約52W
接続端子		外部1 : HDMI 入力
本体システムケーブル		専用ケーブル1本、アンテナ同軸ケーブル1本、HDMIケーブル1本、アースケーブル1本
受信チャンネル		地上デジタル (ワンセグを除く) 011~528ch (CATVパススルー対応) BSデジタル001~999ch 110度CSデジタル000~999CH
BS/110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	AR1B CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz ~ 12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz ~ 2071MHz
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重 (OFDM)
	トランスポート	MPEG2システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	AR1B CASシステム
	受信周波数帯域	93MHz ~ 767MHz
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド (MID) 帯、スーパーハイバンド (SHB) 帯、VHF帯
保護ガラス		t=4mm 強化ガラス
本体材質		t=2mm ステンレス
表面仕上	ヘアライン仕上	横目ヘアライン仕上
操作パネル		防水シート/エンボス加工 POWER、TV/AV、SOUND、CH+/－、VOL+/－、リモコン受光部、電源モニター
外形寸法	壁掛シリーズ SBT-22N1WH	560 (W) × 380 (H) × 75 (D) 本体11Kg 取付ステー2.2Kg
重量 (本体/壁面ステー含む)	埋込シリーズ SBT-22N1WH-in	580 (W) × 410 (H) × 25 (D) [壁面埋込部除く] 本体10Kg 取付ステー4.8Kg
防水ランク		IP66 (耐水型/防塵型) 相当
パッケージ内容		浴室液晶テレビ本体、取付ステー、本体取付ビス/ワッシャー、取付ステー固定用ビス/カールプラグ、接続端子BOX、ACアダプター 防水スピーカー2個 (OE-180WR II)、スピーカーケーブル2本、設定用リモコン (非防水)/電池、中継ケーブルA/B/C/D、HDMI中継 同軸用接続線、接続中継、パテ、エフコテープ (2号)、結束バンド、マウントベース、取扱説明書、設置・施工説明書、保証書

■接続端子BOX/ACアダプター

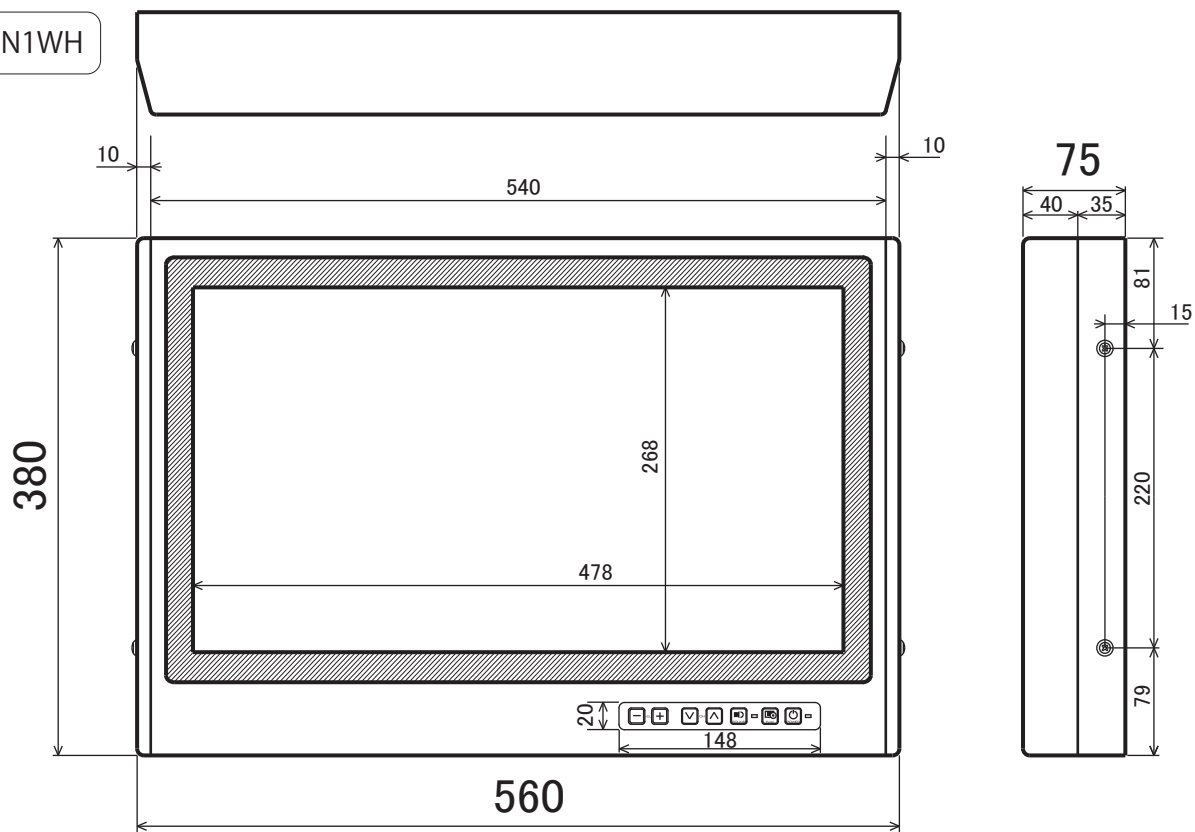
接続端子BOX外形寸法 重量	102 (W) × 34 (H) × 98 (D) 約350g
接続端子	専用ケーブル、スピーカーケーブル
ACアダプター外形寸法 重量	192 (W) × 41 (H) × 134 (D) 約1000g
電源入力・出力	入力AC100V 50Hz/60Hz 出力DC12V/DC24V

■防水スピーカー [OE-180WR II]

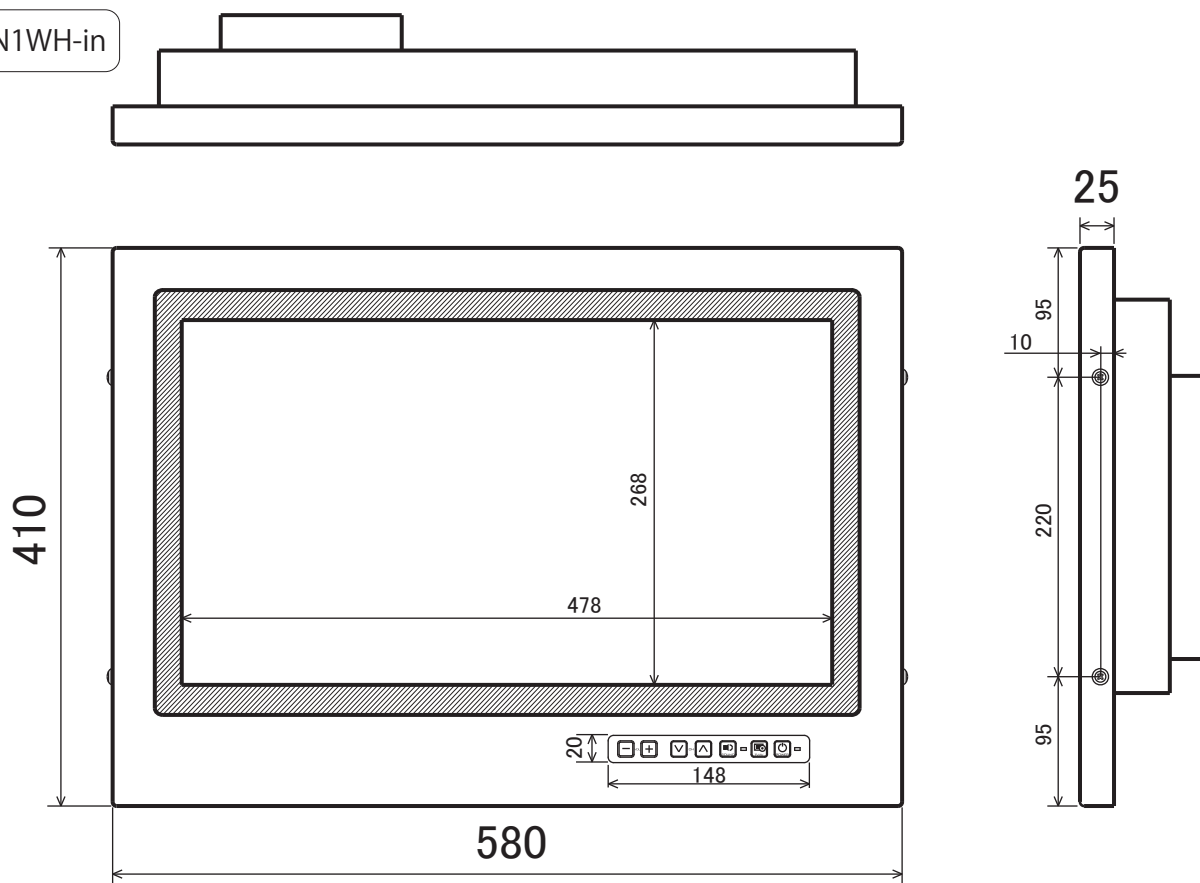
本体 寸法	Φ173 × 55 (D)
パネル	Φ180 × 18 (D)
重量	740g
インピーダンス	インピーダンス 6Ω (10W : ローインピーダンス)

本体寸法図〔SBT-22N1WH/22N1WH-in〕

SBT-22N1WH



SBT-22N1WH-in



改訂履歴

[illegible]

Sun-Abe

サンエーブ技研工業株式会社

本 社：〒190-0023東京都立川市柴崎町2-13-22

TEL. 042-522-0310(代) FAX. 042-523-0538

<http://www.sun-abe.co.jp>